

山口県

山口市

NPO法人レオーネ山口スポーツクラブ

予算額

4,019,910 円

トップアスリートによる巡回指導

巡回指導先団体総数	1 団体			
巡回指導先団体内訳	総合型クラブ	スポーツ少年団	学校	その他
	0 団体	1 団体	0 団体	0 団体

トップアスリート総数	1 名			
トップアスリートの内訳 (大会出場別)	オリンピック	国際大会	全国大会	その他
	名	名	名	1 名

アシスタントコーチ総数	0 名
-------------	-----

指導種目	サッカー
------	------

◆効果をもとめるための工夫や取組など

- 元Jリーガーであり、指導者としてのキャリアも十分にある指導者に依頼した。
- サッカーだけにとらわれず、様々な種目を取り入れつつサッカーの競技力向上に努めていただいた。

◆成果と課題

〔成果〕

- 普段から質の高い指導を受けられることで、子どもたちのモチベーションUP、技術向上が見られたと同時に、アスリートの生きがいにもなっている。

〔課題〕

- 今後、自主採算としては成り立たない事業である所に問題がある。
- こういった事業を成り立たせるには少年団のクラブ化、経営基盤化、受益者負担の考えを理解してもらう必要がある。

地域課題解決に向けた取組

1	取組の名称	①親子テニス教室 ②親子サッカー教室 ③女の子のためのサッカー教室			
	趣旨・目的	親子で参加することで、スポーツへの興味・関心を引き、体力・精神力・コミュニケーション能力の向上と、成人の週1回以上のスポーツ実施率向上に向けたきっかけづくりを趣旨とする。(①、②) 女子ではまだマイナースポーツに属するサッカーへの参加機会向上と、スポーツの楽しさを伝えることで女子のトップアスリート育成のきっかけづくりを趣旨とする。(③) 以てスポーツコミュニティ、「新しい公共」の形成促進を趣旨とする。			
	内容	初級者を対象としたテニス教室、サッカー教室			
	対象者	①②小学生の親子 ③小学校高学年～中学3年生の女子	参加人数	①延べ58名 ②延べ33名 ③延べ21名	実施回数 ①2回 ②2回 ③2回
	効果を高めるための工夫や取組など	<ul style="list-style-type: none"> できる限り一人一人の効果を高めるために、数限定で行った。 教育委員会に協力を頂き、開催場所周辺の小学校にチラシを配布した。 			
	成果	<ul style="list-style-type: none"> 親子という所をターゲットにした事で、2世代が運動するきっかけを創ることができた。 女子にターゲットを絞ったことで、参加しやすい環境を創ることはできた。 			
	課題	<ul style="list-style-type: none"> 自主採算への事業化は可能であると思われるが、そのための施設確保などに課題が残る。 			

小学校体育活動支援

派遣先学校総数	2 校
コーディネーター総数	4 名

◆効果を高めるための工夫や取組など

- 担任の先生はあまり生徒の体に触れることはしないので、良いか悪いかはわからないのだが、低学年に関しては動きのわからない部分は、補助的に身体を動かしてあげるようにした。
- 積極的に声かけ、励ますコーチングを行うことで「できる、できない」よりも「チャレンジする」ことでまずはスポーツの楽しさをやる第一歩に踏み込んでもらう事を重要視した。

◆成果と課題

[成果]

- 生徒のモチベーションアップ、体育への意欲が向上した。
- 褒められるということから、成功体験を実感することができた。
- 安全面の向上。

[課題]

- どこまで介入するかのさじ加減が難しい。特に授業に臨む態度などへの対応が難しかった。

本事業全体の成果と課題

〔成果〕

- ・ 様々な場面で、モチベーションの向上という点では間違いなく大成功だと感じています。運動する機会を増やすという点において、学校に教室開催のチラシ配布を依頼できたことにより、普段運動しない親に対して子ども側からアプローチできたことは大きな成果だったと思います。「子どもにせがまれて来てみたら…やっぱり運動することっていいですね」とおっしゃっていただきました。

〔課題〕

- ・ 各学校の温度差、さらには学校内でも先生間の温度差を非常に感じました。
- ・ この事業の独立採算を考えると、まだまだ時期尚早という感は否めません。受益者負担という考え方への抵抗はまだまだ根強くありそうですし、お金を払ってまでは…という人々の多さを考えると、スポーツへの入口をさらに増やしていく必要性を感じました。